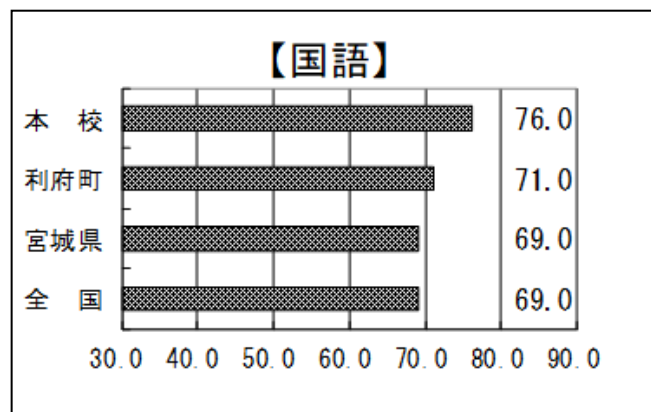


令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

今年の4月19日（火）に、全国の公立中学校に通う3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が各校に7月下旬に届きました。これに基づいて、この度、本校の生徒の学習や生活の状況について、良さや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。

1 学力調査の結果

(1) 【国語】（数値：平均正答率％，比較：全国の平均正答率との比較）

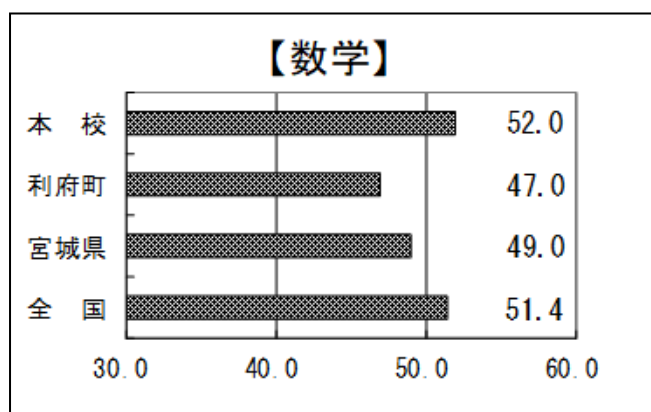


- ・全国の平均正答率を7ポイント上回り、基礎・基本の力がしっかりと身に付いていることが分かりました。
- ・知識及び技能について、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では4.3ポイント、「情報の扱い方に関する事項」では18.2ポイント、「我が国の言語文化に関する事項」では6.9ポイント、全国平均を上回る結果となりました。
- ・思考力・判断力・表現力等について、「話すこと・聞くこと」の項目では、全国平均を7.3ポイント、「書くこと」の項目では18.2ポイント、「読むこと」の項目では8.1ポイント上回る結果となりました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して、◎よくできていた問題 ●課題として挙げられる問題）

- ◎意見文の下書きで、考えの根拠が明確になるように資料から必要な情報を引用して書き加える問題について、正答率が特に高くなっていました。
- ◎文学的な文章の読解において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈する問題について、正答率が特に高くなっていました。
- 事象や行為、心情を表す語句についての理解を問う問題で課題が見られました。
- 書写における、行書の特徴を捉える問題で課題が見られました。

(2) 【数学】（数値：平均正答率％，比較：全国の平均正答率との比較）

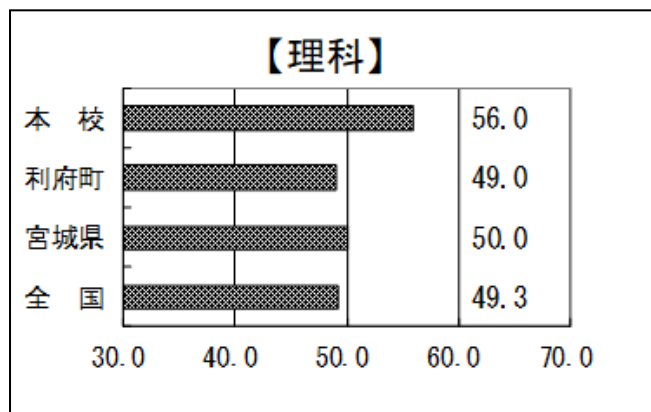


- ・全国の平均正答率を0.6ポイント上回り、数学の基礎・基本の力がおおむね身に付いていることが分かりました。
- ・「数と式」の領域では1.6ポイント、全国平均を上回る結果となりました。
- ・「関数」の領域では7.4ポイント、全国平均を上回る結果となりました。
- ・「図形」の領域では1.1ポイント、全国平均を下回る結果となりました。
- ・「データの活用」の領域では4.8ポイント、全国平均を下回る結果となりました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して、◎よくできていた問題 ●課題として挙げられる問題）

- ◎簡単な連立二元一次方程式を解く問題、証明で用いられている三角形の合同条件を答える問題で、高い正答率が得られました。
- ◎文字を用いて数の性質を証明する問題において、具体的な数を使って成り立っていることを確認したり、説明を書いて完成させたりする問題が、全国平均を大きく上回りました。
- 素因数分解をするときには乗法記号（×）を用いて表すことに課題が見られました。
- 反例の意味の理解に課題が見られました。また、箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることに課題が見られました。

(3) 【理 科】(数値：平均正答率％，比較：全国の平均正答率との比較)



- ・全国の平均正答率を 6.7 ポイント上回り，基礎・基本の力がしっかりと身に付いていることが分かりました。
- ・「エネルギー」を柱とする領域では 7.1 ポイント，全国平均を上回る結果となりました。
- ・「粒子」を柱とする領域では 5.2 ポイント，全国平均を上回る結果となりました。
- ・「生命」を柱とする領域では 5.8 ポイント，全国平均を上回る結果となりました。
- ・「地球」を柱とする領域では 6.5 ポイント，全国平均を上回る結果となりました。

具体的な学習状況（全国平均正答率と比較して，◎よくできていた問題 ●課題として挙げられる問題）

- ◎記述式の問題の無回答率が全国平均と比較し，極めて低いことが分かりました。身のまわりで見られる自然の事物・現象について，観察，実験の結果や他者の考え等をもとに自分の考えを表現しようとする姿勢が強く感じられました。
- ◎正確な結果を導くための実験方法や考察を行うためのグラフを作成する技能を問う問題は高い正答率でした。また，データを用いた考察を多面的，総合的に検討する問題の正答率も高く，思考力がついてきたといえます。
- 物体にはたらく重力とつりあう力を矢印で示し，説明することに課題が見られました。
- 水素を燃料として使うしくみの例について，必要なおおもとのエネルギーについて分析することに課題が見られました。

2 今後の取組について

【国 語】

- 自分の考えを書く活動を單元ごとに設定し，根拠を明確にして文章の中に記述する重要性を理解させ，定着させるとともに思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。
- 文章の内容を読み取る活動では，様々な文章(説明的な文章や文学的な文章)から，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して使う活動を繰り返し行うことで，語感を磨き語彙力を高めさせていきます。
- 漢字の書き取り問題に取り組む時間を定期的に設けることと，書写の授業を中心に行書について学ぶ時間を増やすことで，基礎・基本の知識の定着に努めていきます。
- 朝読書のこれまで以上の推進や，多くの書物に触れる機会を設ける等，図書館教育の充実を図り，読書好きな生徒の育成に努めます。

【数 学】

- 宿題や週末課題に取り組ませ，学習した内容の定着を図っていきます。
- 授業の導入において，予想を取り入れた課題や解きたくするような課題を出すことで，なぜその事項が成り立つかを深く考えさせる授業を展開していきます。
- 他者と学び合う時間を確保し，級友に説明したり級友から教えてもらったりする機会を増やすことで，一人一人の理解を深めていきます。

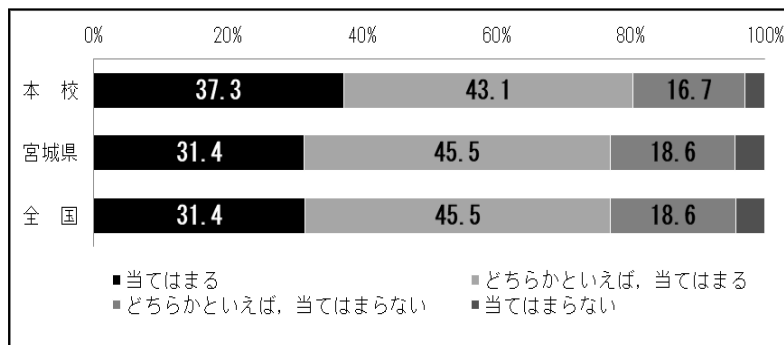
【理 科】

- 授業において，実験・観察の時間を十分に確保し，更に多くの体験や経験を積ませていきます。また，得られた結果の分析・考察にもより力を入れていきます。
- 動画をはじめとする視聴覚教材を効果的に活用し，多面的な思考がしやすく，身近な事象に結びつける授業を行っていきます。
- 授業中に課題に取り組む時間をこれまでと同様にしっかりと確保することで，学習した内容の定着を図っていきます。

3 学習状況調査の結果（数値：回答率％，比較：全国の平均回答率との比較）

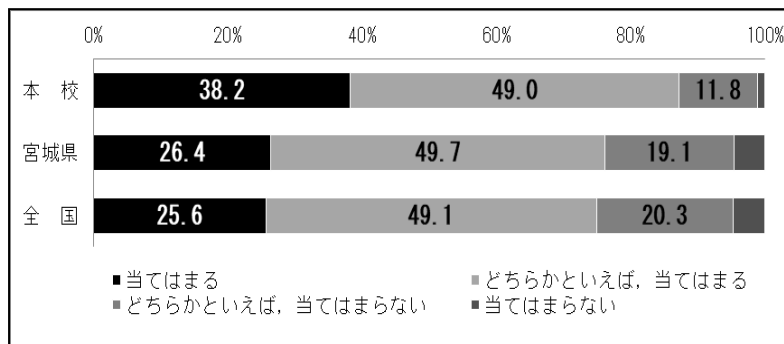
(1) よい傾向が見られる項目

① 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



全国平均に比べ、「当てはまる」と回答している生徒の割合が5.9ポイント高くなっています。授業の「学び合い」活動に意欲的に取り組むことができていると捉えることができます。今後も、各教科で効果的に「学び合い」活動を取り入れ、自らの言葉を発信することや他者と議論することなどを通して、学ぶ楽しさを味わうことのできる場の創造に努めます。

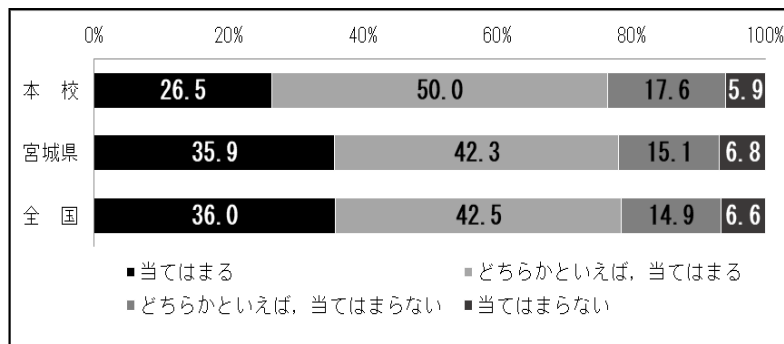
② 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



全国平均に比べ、「当てはまる」と回答している生徒の割合が12.6ポイント高くなっています。家庭学習が定着し、授業で学習した内容をしっかりと復習する取り組みができていると捉えることができます。今後も、理想的な学習習慣を身に付けていくことができるよう、家庭学習の取り組みを促す指導を継続し、定着を図っていきます。

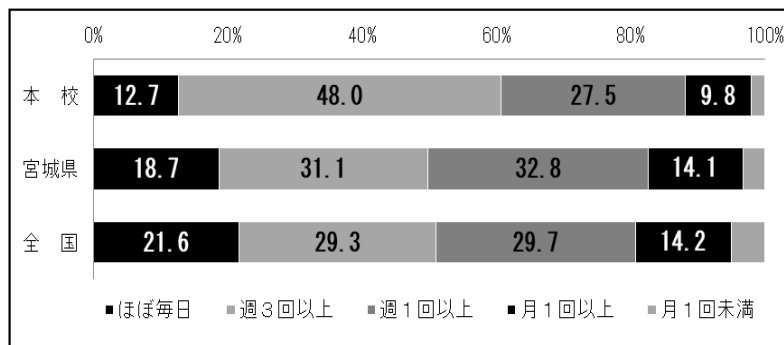
(2) 改善が必要と思われる項目

① 自分には、よいところがあると思いますか。



全国平均に比べ、「当てはまる」と回答している生徒の割合が9.5ポイント低くなっています。自己肯定感（自分のよさを肯定的に認める感情）があまり高くないと捉えることができます。授業や諸活動において、生徒一人一人の取り組みを認めること、褒めることなど、肯定的な声掛けを継続していくことで、自己肯定感の向上に努めていきます。

② 1，2年生のときに受けた授業で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使用しましたか。



全国平均に比べ、「ほぼ毎日」と回答している生徒の割合が8.9ポイント低くなっています。今年度は、授業の振り返りや家庭学習でもI C T機器を使用する機会を設け、使用頻度を大幅に増やしています。今後も情報活用能力を向上させるために、授業や諸活動などのさまざまな活動において効果的な活用を図っていきます。